

委員会レポート

総務建設産業委員会

令和6年10月30日～
11月1日



湖西市の水道メーター スマート化計画

令和5年から令和9年までの総事業費約5億7600万円(内国費1億9200万円)。
交換数量2万3700個。市内全ての水道メーターのスマート化を令和9年末までの完了を目指しています。併せて検針票のペーパーレス化、産・官・学の連携による検針データを活用した管路のダウンサイジング化、新料金プランの構築、生活者の見守りやフレイル予防等も同時進行で進んでいます。



湖西市の水道スマート メーター導入の経緯

検針員の確保が困難、見間違いや入力ミスが発生、検針票紛失による個人情報漏洩、漏水や無届け使用の確認が遅いなど効率性の観点から、検針業務の改善や水道事業の見直し等をトータルで考え、抜本的な業務改善が必要との判断により、スマートメーターの導入を決定しました。



視察を終えて

スマートメーター導入により、検針作業時間の104時間が5分に短縮されたことや、漏水判定も飛躍的に向上した旨の説明を受け、大変素晴らしい先進的な事業であると思いました。しかし、この事業に係る事業費は膨大であり、将来的には視野に入れるとしても、須恵町では現状を維持するための施策を講じていくことが必要不可欠であると思いました。

水道スマートメーターの 先進事例について 10月30日(水)

市内全ての水道メーターのスマート化を目指している静岡県湖西市の取り組みを学ぶために視察を行いました。



湖西市議会 馬場 衛議長の
歓迎のあいさつを受けました

11月1日(金)

I. 講師：十勝バス株式会社代表取締役社長 野村 文吾氏

演題：「ヒト・モノ・カネを繋げる
ローカルハブ構想と十勝バスの挑戦」

II. 講師：ジャーナリスト 浜田 敬子氏

演題：「ジェンダーギャップの解消
～誰もが住みやすい地域へ～」

10月31日(木)

I. 講師：慶応義塾大学法学部政治学科教授 谷口 尚子氏

演題：「多様な人材の地方議会への参画促進」

II. 講師：株式会社ワークビジョンズ代表取締役 西村 浩氏

演題：「縮退の時代に生き残るための新しい
まちづくり実践論」

市町村アカデミー研修

市町村アカデミー(千葉市)の市町村議会議員セミナーでは、2日間にわたり、4名の講演を拝聴しました。

追跡

執行部の答弁は実行されているのか？ 一般質問のその後

過去の一般質問の内容に対し、どのような対応がなされたか、また、どのように町政に反映されているのか追跡しました。

幼稚園・保育園の 待機児童対策は (令和5年12月議会)

質問 今後を見据えての展望(子育て支援員の活用、小規模保育所の認可など)待機児童が増えた時の対策などについて町の考えをお尋ねします。

答弁 ここ数年の待機児童の約9割以上が0～2歳児であるのが現状です。小さなスペースでも開園できる保育園として制度化された「小規模保育事業」は主に0～2歳児を対象とするものですので、検討価値は十分にありますが、空き教室などを利用する事業です。現在各学校とも空き教室はなく、むしろ不足している状況です。財政には限りがありますので、施設整備が最大の難関になります。今後、人口ビジョンに基づけば、須恵みなみ幼稚園の開園により待機児童問題は、解消されると見込んでいます。

現状 須恵みなみ幼稚園が令和6年10月から新園舎で開園しました。本町でも共働き世帯が増え待機児童が増加している状況でしたので、待機児童対策が急務の解決すべき課題でした。須恵みなみ幼稚園が開園したことで、待機児童数が開園前と比べ減少しました。園には、すこやかコミュニティ事務局も併設されており、今後は第一小学校区の新たな拠点としても活用されていきます。

参考：待機児童(国の基準で算出)
令和5年4月1日現在
1歳児⇒11名 2歳児⇒1名 合計12名
令和6年12月1日現在
0歳時⇒3名 1歳児⇒3名 合計6名



新たに開園した須恵みなみ幼稚園

新たな議会構成決まる

令和6年12月18日の各常任委員会において、委員長、副委員長の選任が行われ、令和7年1月から新体制で発進しました。今後も町民に開かれた議会を目指し、活動してまいりますので、宜しくお願い致します。

議会運営委員会



委員長
川口 満浩



副委員長
白水 春夫

委員 田ノ上 真
委員 稲永 辰己
委員 男澤 一夫

総務建設産業委員会



委員長
稲永 辰己



副委員長
川口 満浩

委員 田ノ上 真
委員 猪谷 繁幸
委員 三角 栄重
委員 百田 輝子

文教厚生委員会



委員長
男澤 一夫



副委員長
白水 春夫

委員 三上 政義
委員 川原 幸治
委員 平山 諭